

## 陳 情 文 書 表

平 2 7 陳 情 第 7 号		平成 2 7 年 5 月 2 6 日 受 理
件 名	国際平和支援法案及び平和安全法制整備法案の廃案を求める陳情	
陳 情 者	秦野市南矢名 3 - 6 - 2 8 新日本婦人の会秦野支部 支部長 原 とし子	
陳 情 の 要 旨		
<p>第 1 8 9 回 通常国会で、安倍内閣が国際平和支援法及び平和安全法制整備法、いわゆる安全保障関連法案を強行採決することを危惧しています。</p> <p>その内容は、自衛隊が米国の戦争や軍事行動に、いつでも、どこでも、切れ目なく参加できるようにする、「戦争法案」そのものです。「平和」や「安全」の名でごまかすことは許されません。</p> <p>侵略戦争の反省からつくられた日本国憲法は、政府の行為によって日本が再び「戦争をする国」にならないことを固く決意したものです。今年は、戦後 7 0 年の節目の年であり、私たち女性・国民は、多くの戦死者を出したことを忘れません。</p> <p>住民の命とくらし・安全に責任を負う自治体として、日本が戦争をする国へ歩もうとすることを看過しないよう、国際平和支援法案及び平和安全法制整備法案の廃案を求める意見書を国へ提出していただくよう陳情します。</p> <p>陳情事項</p> <p>国際平和支援法案及び平和安全法制整備法案の廃案を求める意見書を国へ提出すること。</p>		